

- 梯川は、石川県小松市街地を貫流し、河口付近で木場潟より流れ出る前川を合わせて日本海へ注ぐ一級河川です。
- 「前川排水機場」は、梯川から前川への逆流防止等を目的として設置された「梯川逆水門」とともに、前川の洪水を梯川へ排水し、低平地の木場潟周辺の洪水被害を軽減するために設置されました。
- 平成28年は、前川排水機場が稼働してから20周年を迎えます。これを記念し、施設の役割や効果を地域の皆様にご理解いただくとともに、防災意識の高揚を図ることを目的として、講演会を開催しました。



前川排水機場

平成8年度 運用開始（暫定30m<sup>3</sup>/s）

平成12年度 本格運用（計画62m<sup>3</sup>/s）

## 【記念講演会 開催概要】

日時：平成28年6月18日（土）

場所：石川県小松市

内容：洪水映像放映、パネル展示、事業報告、記念講演

参加：小松市長、地域住民の方々  
約300名



講演会の様子

- 記念講演  
「災害の備えについて  
～企業の防災対策BCP  
（事業継続計画）～」

コマツ栗津工場  
総務部長 伊藤祐一氏



前川排水機場の歩みや梯川改修に関するパネルを展示

パネル展示

昭和9年の手取川、昭和34年の梯川の氾濫で、尊い命がたくさん失われています。命を守り、自然を守り、文化を守っていくことは、私どもの大きな役目です。

※アニバーサリープロジェクトとは  
治水施設の生い立ちを地域の方々と振り返り、施設の役割を再認識していただくための取組を実施するものです



小松市長 和田慎司